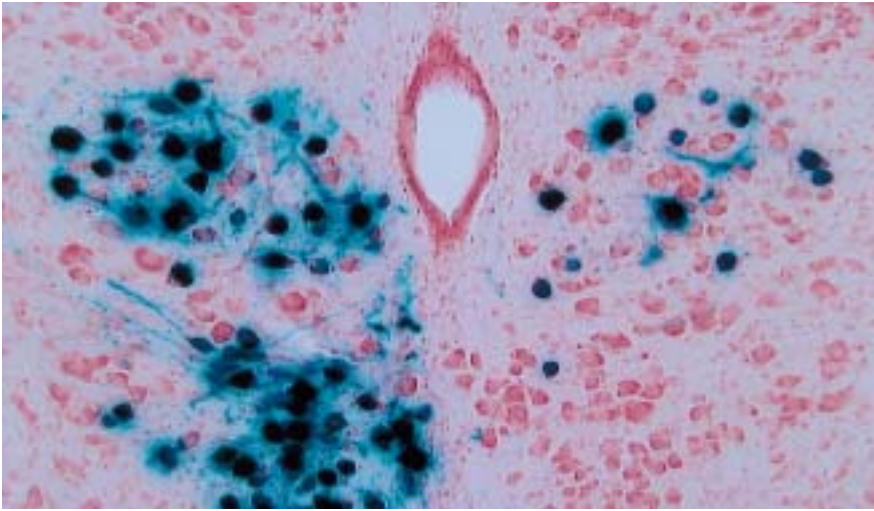


壊れた脳の修復は可能か(本文4～12ページ)



写真左

アデノウイルスによる遺伝子導入。
LacZを発現する遺伝子をアデノウイルスベクターを用いて舌下神経核の運動ニューロンにのみ発現させたもの。
(Namikawa et al 2000, 木山の参考文献4より)

写真右

舌下神経損傷後に発現するグルタミン酸トランスポーターの遺伝子発現を in situ ハイブリダイゼーション法(乳剤)で証明したもの。損傷側(右)の運動神経細胞の上に白い銀粒子の集積(mRNA シグナル)が認められる。

(Kiryu et al 1995, 木山の参考文献3より)



エキノкокクス症を取り巻く諸問題(本文13～19ページ)



写真左

エキノкокクス症(多包虫症)の世界分布図(from Dr.Schantz)

慢性砒素中毒の生体影響指標を求めて(本文20~29ページ)

中国におけるフィールド調査 関連写真



手掌角化症(中等症例)



足底角化症(重症例)



手掌角化症(重症例)



色素異常症
(典型例:
rain drops on the
dirty road)



足底角化症(軽症例)



多発ボーエン病および多発皮膚癌

人工股関節置換術 (本文30~35ページ)

写真右

ポリエチレン磨耗粉モデルの病理組織所見

A.ソケット側:

ソケット辺縁から中心部にポリエチレン磨耗粉を
食食した異物巨細胞とMacrophageが侵入し
ている(ORO:Oilred-O染色)

B:ステム側:

ステム遠位にソケット側と同様の異物性肉芽組
織が存在する

